

令和元年

12  
月

ソフィアだより



クリスマス



クリスマスはすべての時を1 つにつなげる日  
クリスマスにはすべての道が故郷へと向かう

アレクサンダー・スミス  
マーシャリー・ホームズ

カ

レンダーが11月から12月に変わると、とたんに戸外の空気があわただしく感じます。

「サンタクロースさんいつ来る?」「どこからくる?」「夜に来る?」

子どもたちがワクワクする12月。



宗教的な枠を越えて「クリスマス」は人々に温かい思いを伝える日、大好きな人と時間を共にする日など、特別な行事となりました。ソフィアにも毎年サンタさんが現れ「どこからきたの?」など質問攻めに合います。

リチウムイオン電池の開発で今年のノーベル化学賞を受賞された「吉野彰」さんが、未来を担う若者に向けてメッセージを発信されていました。

「・・・自分の武器になる得意分野をもつこと、何でも広く関心をもち一般教養を身につけること。それらの力が合わさって誰も考え付かない独創的なアイデアに結びつく。科学が進歩したが、宇宙、深海、・・・自然界には手つかずの宝物がまだまだたくさん残っているのです・・・」

自分の周りのことに「これ何?」「なんでそうなるの?」と、知りたいこと、不思議なこと、があふれんばかりにあるソフィア時代の子どもたち。体中から好奇心の芽が出ています。質問期というこの時期に、子どもの感じたことを大切に受け止めてあげたいですね。たくさんの「好き」の種から『思考力』が育ちます。

毎日の保育の日常の中に、子どもたちの「好き」の種がたくさんまかれています。



ソフィア東生駒こども園 園長 中畑直実